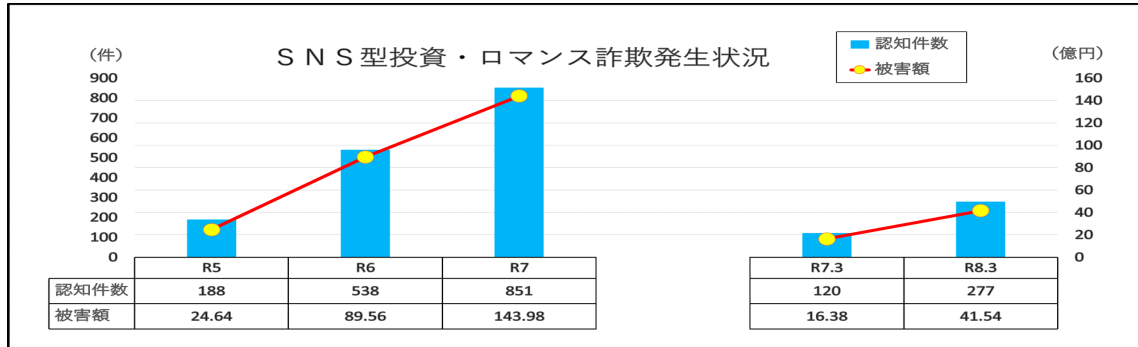


1 SNS型投資・ロマンス詐欺の被害状況

令和8年3月末現在、県内のSNS型投資・ロマンス詐欺認知件数は277件、前年同期比+157件、被害額は約41億5,400万円、前年同期比+約25億1,600万円と認知件数、被害額ともに増加しています。



2 被害の特徴

- (1) 高額な被害： 1件当たりの被害額が非常に高額になる傾向があり、令和7年中の県内の1件当たりの被害額平均は約1,700万円
- (2) 信頼の悪用： 人を信じ込ませ、長期間にわたり巧妙なやり取りが行われる
- (3) 追加要求： 入金後、利益を引き出そうとすると「税金」「手数料」として、さらに金銭を要求

3 SNS型投資詐欺の被害例

被害者は、著名人の「投資のノウハウを伝授します」等と掲載されたバナー広告を発見し、同広告をクリックすると通信アプリに誘導され、これを登録した。その後、投資のレクチャーを受け、指定された暗号資産アプリの登録と口座振り込みを行うとアプリ上で利益が表示され、出金しようとしても「先に税金を納めなければならない」等と追加要求されたことから不審に思い、警察に相談したところ、だまされたことに気付いたもの。

4 SNS型ロマンス詐欺の被害例

被害者は、マッチングアプリでメッセージを送ってきた相手と親交を深めていると「私の親戚が投資に詳しくて、あなただけに未公開の新規暗号資産の話をお教える」「儲かったお金で二人で暮らしたい。」などと言われ、指定された口座に振り込みを行うも、相手と連絡が取れなくなり、だまされていたことに気付いたもの。

5 被害防止対策のポイント

県警察では、

- (1) 会ったことのない相手からの金銭要求は詐欺と疑う
- (2) 著名人などになりすましたSNS広告に注意
- (3) コミュニケーションツールや投資グループへの誘導は注意
- (4) 個人口座への振込は詐欺

等のポイントを県警察HPやSNS等により注意喚起、情報発信を推進しています。

SNSからの投資話はサギと疑え！

直接会ったことのない人、その人、本物ですか？